闘いなくして安全なし

2023.02.27
No. 387

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://dourousien28.kane-tsugu.com/renrakuban/
dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

ジョブ・統括センター 強制配転に反対します

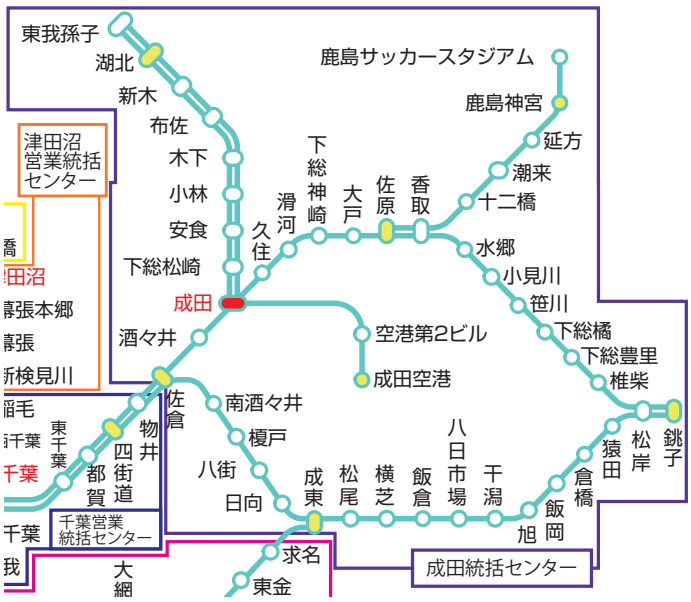
深刻な権利侵害「制度廃止」の訴え必要

千葉支社は7月から管内全駅を（営業）統括センター化すると提案しています。職場としては銚子、鴨川、木更津の3運輸区も廃止・統括センター化されます。

統括センター内は「一職場」として扱われます。「今日は銚子駅、明日は運転士、次の日は成田駅」といったことが勤務指定一つで決められることになります。

会社はまるで「どの職場で、どんな仕事をさせるかは、すべて会社の自由だ」「それが当然だ」という態度です。しかし、「どこで、どんな業務で働くか」は、労働者の権利の根本に関わる重大な問題です。会社が好き勝手に決めていいことではありません。

7／1実施提案　成田統括センターのエリア



「どこに配転されるのか」

すでに職場ではジョブローテーションによる強制配転が繰り返されています。生活上の困難が生じたり、希望しない職種への転換で休職に追い込まれる人も出ています。

そもそもジョブローテーション提案時、現場からは「どこに配転されるのか」「なぜ職名を廃止するのか」「安全レベルが低下する」「生活設計がたてられない」「任用の基準は信用できない」と声が上がっていました。まさに現場で起こっていることそのものです。

当初会社が語った「社員自ら主体的にキャリアを描く」という言葉が、ただの建前だったと完全にはっきりしました。ライフサイクルを「輸送のプロをつくるため」と言ってきたことと同じです。

制度そのものに「反対」の声を

ジョブローテーションも、統括センター化も、制度そのものの廃止を訴えることが必要です。会社の目的が、乗務員の団結を破壊して現場の抵抗力を奪うことにあるからです。

会社の施策は決して万全ではありません。多くの矛盾があります。打ち破る力は職場からの「反対」の声、団結した闘いにあります。